

日本ゲーム大賞 2019 「U18 部門」 受賞作品

金賞「手裏剣 Jump」、

銀賞「Overturn」、銅賞「朝を知らぬ星」に決定！

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会（略称：CESA、会長：早川英樹、所在地：東京都新宿区西新宿）は、日本ゲーム大賞におきまして、18歳以下の方が開発したゲーム作品を対象に審査、表彰する「U18（ゆーじゅうはち）部門（<https://u18.awards.cesa.or.jp/>）」の決勝大会を9月15日（日）、「東京ゲームショウ2019」（会場：幕張メッセ）のイベントステージにて開催しました。

決勝大会の審査は、実機試遊審査とプレゼンテーション審査の2つで構成されています。実機試遊審査ではゲームの面白さや独創性・技術力をアピールし、プレゼンテーション審査ではゲームの説明だけでなく制作途中の考え方もアピールします。

2回目の開催となる本賞の決勝大会では、全国からの多数のエントリーから、一次審査、予選大会を経て残った7作品について、ブラッシュアップ期間を経て、審査員の試遊プレイによる実機試遊審査と、ファイナリストの最終プレゼンテーション審査の評価により、各賞を決定、発表いたしました。



【日本ゲーム大賞 2019 「U18 部門」 受賞作品】

「金賞」

作品名：手裏剣 Jump

制作者：池上 颯人（神奈川県横浜市立美しが丘小学校）

作品介绍：ジャンプができない主人公の忍者が、手裏剣で敵をやっつけながら城を目指すゲームです。敵に手裏剣が当たると、跳ね返ってきて、主人公に当たるとジャンプし、爽快に進みます。

手裏剣を使うのは敵をやっつけるだけでなく、巻物を取るのにも使います。巻物に手裏剣を当てると、忍法が発動し、分身の術や隠れ身の術が使えます。

速くゴールできたら、そのタイム分が得点に加算されます。

あらすじもあります。江戸時代にタイムスリップしてしまった主人公のケイタ君は果たして元の時代に戻れるのか！？
今！ケイタ君の冒険が始まる！



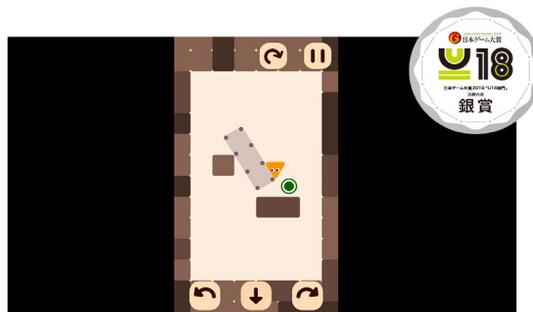
「銀賞」

作品名：Overturn

制作者：松田 活（函館ラ・サール高等学校）

作品紹介：プレイヤー(三角形)を操作し、マップ内にある物体をうまく動かしたり回転させたりしてゴールに辿り着くパズルゲームです。

上下方向にプレイヤーを動かすような類似のゲームは多いが、このゲームはプレイヤーを回転させて壁を沿うように進むという点で違っているため、他のゲームと同じような考え方では簡単にゴールできないところが面白いところです。



「銅賞」

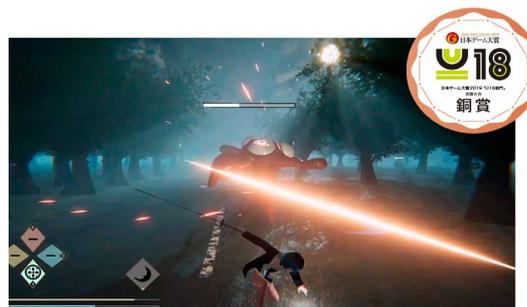
作品名：朝を知らぬ星

制作者：梅村 時空（N 高等学校）

作品紹介：朝が来なくなってしまった星を舞台に、少年少女がその真相を暴くアクション RPG です。

たちはだかる強敵を倒し、フル 3D で描かれるカットシーンなどを進めていく事によってゲームが進行していきます。

このゲームの難易度は比較的高く設定されていて、プレイヤーが試行錯誤を繰り返しゲームを攻略していくことで自身の成長を感じたり、その先にあるシナリオへたどり着くことによって達成感を感じたりすることができます。



決勝大会進出作品の紹介動画は、日本ゲーム大賞 U18 部門ウェブサイトにてご覧頂けます。

<https://u18.awards.cesa.or.jp/finalist2019/>

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

日本ゲーム大賞 U18 部門 運営事務局(株式会社イマジカデジタルスケープ 内) Tel:03-5459-6217

Fax:03-5459-6232/E-mail: u18@cesa.or.jp 公式サイト: <https://u18.awards.cesa.or.jp/>